

Be Happy! その 61

探究アドバイザーによる講義と職員研修

6月6日(火) 6限目(14:20~15:10)「産業社会と人間」(1年次対象)の教科の時間に、「探究活動を進めるために」と題して、甲南大学フロンティアサイエンス学部 教授 甲元一也 様による講義が展開されました。簡単な自己紹介から、世界を舞台に遺伝子治療の研究に従事されたことを知り、教授の説明に冒頭より心は釘付けになりました。一言も聞き逃すまいと集中しながら、その言葉の重みと、奥深さが感じられ、45分の講義はあっという間に終了の時刻になりました。



内容は、企業が新入社員に求める能力は、文系理系を問わず、課題設定・解決能力が要求され、それを身に付けるには、まずは課題をいち早く見つけることが必要であると、シンプルで簡単な言葉でまとめられました。さらに視点は異なる立場から課題を考えることが重要であることを、ワークシートを活用しながら、生徒の学びを深い領域に導いてくれました。(生徒だけではなく、私を含めた講義を拝聴している全ての先生方)そして課題を見つけた後が大事と強調され、課題は考え方で必ず解決できると明言されました。私のなかで、散らかっていた部屋がすっきりと物事が整理整頓されたような心境になり、目からうるここという言葉を意識しました。



引き続き、職員研修(15:50から16:40)「探究活動の指導と評価」と題して特別講義をしていただきました。受動的な学びと能動的な学び、その特性と問題点、探究活動を成功させる鍵や指導法、ファシリテーター(教員)の仕事、探究活動とそのサイクル、テーマ選びの重要性など多岐にわたる視点とその根拠を丁寧に講義していただきました。またまた、すっきり。思考回路が整い、目的と手段、探究活動の基本理念などを理解でき、事前に用意していた疑問やテーマなどはすべて納得できました。先生方も積極的に学ぶ姿勢は旺盛で、講義の後、質問しておられた先生もいらっしゃいました。

加古南の数多くある魅力の一つに、「特色ある授業、学びたいことが学べる選択科目の豊富さ」があります。その魅力のバージョンアップとして、特別外部講師として著名な専門家(大学教授など)による、「学ぶ深さとレベルの高さ」のギアを一段階あげた授業の展開に取り組んでいます。

生徒たちの大きな成長に繋がり、いっそう楽しく満面の笑顔あふれる学校文化の創造に挑戦していることに Be Happy。

甲元教授、その講義をしっかりと受けて、充実した探究活動に取り組もうとしている生徒たち、それを支えようとする先生方に感謝と敬意を表し、最高の Be Happy を感じています。 **Be Happy!**